資料1-1

「道南連携地域政策展開方針」各プロジェクト

推　進　状　況

地域重点政策ユニットのプロジェクト名称	推進エリア
1　北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト	道南連携地域
2　道南の優位性を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦プロジェクト	道南連携地域
3　地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	道南連携地域
4　暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト	道南連携地域
5　地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	道南連携地域
6　縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	道南連携地域 石狩地域 胆振地域

北海道渡島総合振興局

北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目 的

今後の北海道新幹線（新函館北斗･札幌間）の開業も見据え、歴史･文化･食など地域の資源を最大限に活かし、観光誘致、ワーケーション等による長期滞在、移住定住の促進など、交流人口や関係人口等の創出･拡大を推進する。

これまでの主な取組・成果

●北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流の拡大

■北海道新幹線PR活動の実施 ［北海道新幹線建設促進道南地方期成会］

・「親子で参加！見て知って学ぼう北海道新幹線」

開 催 日：令和５年８月７日
概　　要：次世代を担う道南地域の子供たちに北海道新幹線を身近に感じてもらい、利用促進に繋げていくことを目的に親子見学会を開催。八雲町の二股トンネル工事現場の見学も実施。

●個性豊かな観光地づくりと受入体制の充実

■ワークショップの開催［振興局］

・檜山の「食」ワークショップの開催

開 催 日：令和６年２月９日
場　　所：ホテルニューえさし
概　　要：事業者間が連携する管内横断的な食の地域コミュニティの形成等を目的とし、商品開発業務に携わる講師による講演及びワークショップを開催。

●道南の多様な魅力を活かした移住・定住及びワーケーション等の推進

■移住・定住及びワーケーション等の推進 ［市町、振興局］

・「北海道移住・交流フェア」への出展

開 催 日：令和５年11月11日
場　　所：東京交通会館
概　　要：渡島総合振興局、北斗市、木古内町、七飯町、森町、上ノ国町、乙部町、奥尻町各個別ブースにおいて来場者への個別相談対応。135組が参加。

■地域おこし協力隊の増加及び定着に向けた取組の実施［振興局］

・道南地域おこし協力隊活動発表会

開 催 日：令和６年２月20日
場　　所：シエスタハコダテ４階Gスクエア
概　　要：道南における地域おこし協力隊員の活動や取組を地域の関係企業・団体等に周知することで理解を深め、協力隊活動の活性化を図る。

主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
道南地域への観光入込客数	793万人（R2）	1,295万人（R5）	1,521万人（R6）	85.1%
北海道型ワーケーション参加市町村数（檜山地域）	3町（R3）	5町（R5）	7町（R7）	71.4%
道南地域の地域おこし協力隊員数	45人（R2）	60人（R5）	58人（R7）	103.4%

Ｒ６年度の主な取組

■観光関連事業者等による観光客への対応力や説明力等のスキルアップのための体験観光勉強会の開催［振興局］
■アウトドア・アクティビティの専門家招へいによるファミリー層・若年層向け体験メニュー開発・磨き上げ支援［振興局］
■「地域・人おこし」交流会の実施、地域資源を活用した企業向けワーケーションの合宿・研修用コンテンツの開発　［振興局］

道南の優位性を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目 的

地域特性を最大限に発揮し、洋上風力などの再生可能エネルギーの活用や森林資源の循環利用、さらには住宅や公共施設の省エネ化等に向け、関係者が一体となって取り組み、世界、日本、そして本道の脱炭素化に貢献する。

これまでの主な取組・成果

●温室効果ガス排出量削減に向けた取組の促進

■ゼロカーボン推進に関する発信

［市、振興局、函館市地球温暖化対策地域推進協議会］

・「はこだてエコライフ展２０２３」での展示

期　　間：令和５年11月25日～12月３日
場　　所：シエスタハコダテ４階Gスクエア
概　　要：FMいるか出演によるゼロカーボン北海道のPRと啓発パネルの展示、えこ之助キーホルダーの製作体験やエコグッズの配布などを実施。

■リサイクル活動及び環境行動の実践を推進［振興局、檜山造形教育研究会］

・「ひやまリサイクル工作コンクール」の開催

概　　要：身の回りの不要品を再利用した工作を通じて、「物をできるだけ長く大切に使う」、「使えなくなった物は資源に回す」という環境意識を育むため、リサイクル工作コンクールを開催。

●地域資源を活かした再生可能エネルギーの利活用推進

■洋上風力発電導入に向けた取組への支援　［町、国、振興局］

・渡島エリア

再エネ海域利用法における洋上風力の促進区域指定に向けて活動を展開している松前町に支援を実施。

・檜山エリア

地元で進められている合意形成を支援するための住民説明会をせたな町で開催したほか、先進地域の好事例となる取組等の情報収集を実施。

●吸収源対策としての森林の適正管理と自然環境の保全

■檜山の森林づくり運動の推進　［振興局］

・「ゼロカーボンひやま」七タイベントの開催

期　　間：令和５年６月29日～７月７日
概　　要：江差町内の園児に対し、環境教育の一環として、木製の短冊づくりや飾り付け、木育マイスター指導による木工体験など、木育の取組を実施。

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
道南地域のゼロカーボンシティ表明市町村数	0市町（R3）	18市町（R5）	10市町（R7）	180.0%
道南地域の新エネルギー導入量（設備容量）	33万kw（R1）	41.6万kw（R4）	44.4万kw（R7）	93.7%

Ｒ６年度の主な取組

■管内高校と連携した、ワークショップ・フィールドワーク等を通じたゼロカーボン教育の実施［振興局］

■再エネ海域利用法における洋上風力発電の促進区域指定に向けた支援［振興局］

■商業施設での展示会等、教育機関や木育マイスターなどと連携した木育活動の推進　［振興局］

地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目 的

産品のブランド化や適正な資源管理などによる付加価値の向上、ポストコロナに対応した販路の拡大など、稼ぐ産業への転換及び担い手不足への対応を推進する。

これまでの主な取組・成果

●農林水産業の生産力向上

■漁業経営の安定化に向けた取組［民間、振興局］

・「ひやまお魚ウィーク」の開催

期　　間：令和５年４月～６月
概　　要：地域水産物の知名度向上や販売強化を図るため、管内の飲食店において、管内養殖水産物等を食材としたメニューを提供するとともに抽選で景品がもらえるスタンプラリーを実施。

●農林水産業の付加価値向上と販路拡大

■ブリの消費拡大に向けた取組［振興局］

・「函館ブリの料理教室」の開催

開 催 日：令和５年９月30日
場　　所：函館短期大学付設調理製菓専門学校
概　　要：渡島管内で大量に漁獲されているブリの消費拡大を図るため、南かやべ漁業協同組合女性部を講師に、ブリを使った料理教室を開催。16名が参加。

●農林水産業への新規就業につながる担い手対策の推進

■農業を支える担い手の育成・確保　［振興局］

・農業高校等出前講座

開 催 日：令和５年10月11日、12日
場　　所：檜山北高等学校
概　　要：高校生等の若者を青年新規就農者として確保・定着させるため、就農への意欲を喚起する取組として出前講座を開催。

■道産木材の認知度向上を図る取組　［振興局］

・建築物の木造・木質化に向けたワークショップの開催

開 催 日：令和６年３月２日
概　　要：公共建築物等における道産木材の利用を管内全体に拡げることを目的に、木材利用の取組や建築物の事例紹介、道南スギを使用しベンチの製作を行うワークショップを開催。

主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
連携地域の農業産出額	525億円（H30）	567.7億円（R4）	549億円（R7）	103.4%
農林水産業の新規就業者数	73人（R1）	57人（R3）	105人（R6）	54.3%
道南スギの年間製材出荷量（渡島地域）	20,228㎥（R1）	13,440㎥（R5）	23,500㎥（R6）	57.2%

Ｒ６年度の主な取組

■ブリの消費拡大に向けた効果的なPR活動や、飲食店でのブリの活用促進に向けた各種取組の実施［振興局］
■檜山産品の認知度向上や管内事業者の販路拡大に向けた特産品販売イベント「ひやマルシェ」の開催［振興局］
■新規就農者の確保につながる相談会、農業体験ツアー等の開催　［振興局］

暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト
【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目 的

地域住民をはじめ自治体や関係機関、事業者等の連携のもと、人口動態なども踏まえた地域全体の医療体制や交通体系の最適化に向けた取組を進めるとともに、ハード･ソフト両面から地域防災の充実強化を図る。

これまでの主な取組・成果

●公共交通の維持・確保

■地域交通の担い手確保［振興局］

・バス運転手合同就職相談会の開催

開 催 日：令和５年４月15日、10月21日、22日、令和６年３月17日
場　　所：渡島総合振興局
概　　要：地域住民や観光客にとって必要不可欠な移動手段を担う運転手の確保を目的とした個別相談会を実施。64名が参加、11名採用。

●防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進

■災害応急対策に係る訓練の実施　［振興局］

・災害対策渡島・檜山地方本部指揮室設置・運営訓練

開 催 日：令和５年６月23日（渡島）７月６日(檜山)
場　　所：各（総合）振興局
概　　要：大規模災害時における迅速な初動対応及び防災関係機関との連携を深めるため、災害に関する情報収集や各機関との連絡調整を行う訓練を実施。

●安心で質の高い医療・福祉サービスの強化

■地域医療の確保　［札幌医科大学］

・道立江差病院における医学生の受入・「地域医療体験」の実施

概　　要：札幌医科大学が設置する「地域医療研究教育センター」から江差病院が医学生を受入れ、実習期間中に、地域の文化や生活環境を体験することで地域医療への理解を深めることを目的に各町において「地域体験研修」を実施。計24名受講。

■地域防災力の向上に資する研修会の開催　［振興局］

・避難所運営ゲーム（Doはぐ）講師養成研修会の実施

開 催 日：令和５年11月19日
場　　所：渡島総合振興局
概　　要：避難所運営の知識を十分に得た人材(Doはぐマスター)の育成を目的に研修会を実施。Doはぐマスターは、学校が行うDoはぐ研修会の講師等様々な普及活動を行う。

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
渡島地域の地域公共交通計画策定カバー率	36%（R3）	100%（R5）	100%（R5）	100.0%
檜山地域の地域公共交通計画策定カバー率	14%（R3）	85.7%（R5）	100%（R5）	85.7%
渡島地域の自主防災組織の活動カバー率	59.7%（R2）	59.8%（R5） （全国平均値：85.4%）	全国平均値以上（R6）	70.2%
檜山地域の自主防災組織の活動カバー率	60.1%（R2）	62.5%（R5） （全国平均値：85.4%）	全国平均値以上（R6）	73.2%

Ｒ６年度の主な取組

■国内外の観光客に対する地域公共交通PRの実施、道南地域公共交通活性化協議会の開催［振興局］
■道南三圏域において各地域医療構想調整会議等を通じ、将来にわたり持続可能な医療提供体制の構築に向けた取組の推進［振興局］
■市町村における防災訓練実施の支援等、地域防災体制の強化と住民の防災意識の向上を図る取組の実施　［振興局等］

地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目 的

「食」や「観光」、「再生可能エネルギー」など、地域を支える産業の振興や企業誘致を推進するとともに、地元中小企業の事業活動の活性化を図り、若年層を中心とした地元への定着及び雇用の創出を図る。

これまでの主な取組・成果

●地域の強みを活かした地域産業の振興や企業誘致の推進

■「道南ワインアカデミー」の開催 ［振興局］

・ワイン関連事業者向けセミナー

開 催 日：令和５年６月30日
場　　所：函館国際ホテル
概　　要：醸造用ブドウ栽培の新規参入希望者やワイナリー設立希望者が増えていることから、道南地域のワイン産地化に向けた取組を推進するため、生産に生かせる知識・手法を学ぶセミナーを開催。

■管内のハイグレード食品のPR ［振興局］

・「道南ブランド産品PRキャンペーン」の実施

期　　間：令和５年10月18日～令和６年２月７日
概　　要：「北のハイグレード食品」に選定された渡島管内の商品を道内外に広くPRし、一層の知名度向上を図るため、動画を作成し、動画視聴者を対象とした懸賞キャンペーンを実施。応募総数492名、動画の総視聴回数1744回となった。

●産業振興と雇用対策との一体的展開による雇用の創出及び若年層の定着

■高校と企業との相互理解の促進 ［振興局］

・「高校×企業との交流会　in 渡島」の実施

開 催 日：令和６年２月７日
場　　所：渡島総合振興局
概　　要：高校の進路指導教諭と渡島管内企業経営者との相互理解を深めるとともに、生徒の就職・採用活動に資する関係の構築を図るため、交流会を開催。企業経営者24名、高校教諭23名参加。

■企業の働き方改革の推進 ［振興局］

・檜山地域人材確保促進セミナー

開 催 日：令和６年３月12日
場　　所：檜山地域人材開発センターまなびっく
概　　要：効果的な人材確保の方法を檜山管内民間事業者に情報提供することを目的とし、人口減少や働き手不足への対応、個別の事業者の具体的な取組事例等の説明を行った。計20名参加。

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
食の個別相談会等での商談成約件数	281件（H26-H30）	532件（R2-R5） （R5：160件）	300件（R2-R6）	177.3%

Ｒ６年度の主な取組

■「世界料理学会」参加の料理人等を対象とした食材の産地を巡る「産地見学会」や食関連事業者等による「食材見本市」の開催［振興局］
■宿泊事業者等と食関連事業者の連携を図り、道南の食やワイン、お酒の魅力を活かす付加価値向上セミナーの開催［振興局］
■求職者と地元企業の相互理解を図る企業・求職者向け企業訪問・見学会の実施　［振興局］

縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）【連携地域を越えて取組を推進するエリア】石狩地域、胆振地域

目 的

先人から受け継いだ貴重な財産への理解を深め、郷土の誇りと愛着を再認識することで、次世代へ継承していくとともに、この魅力ある地域資源を活用し、観光など地域産業の活性化に繋げていく。

これまでの主な取組・成果

●縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進

■縄文プロモーションの実施［縄文道民会議、市、振興局］

・「JOMON　FESTIVAL　2024　縄文雪まつり」の開催

開 催 日：令和６年２月３日、４日
場　　所：チ・カ・ホ北３条交差点広場西
概　　要：世界文化遺産である縄文遺跡群を活用し、石狩、胆振、渡島各地区の周遊を促進するため、それぞれの遺跡と合わせて、縄文クイズや、縄文グッズ、パンフレットの配布等、管内の観光PRを実施。

■縄文文化に関する情報の発信［振興局］

・「北の縄文パネル展」の開催

場　　所：函館市地域交流まちづくりセンター 他
概　　要：縄文遺跡群や縄文文化を幅広く発信するためパネル展を開催。「JOMON CULTURE STYLE BOOK」、フォトコンテストの入賞作品の展示や、縄文に関するパンフレット等を配布。

●遺産を活用した誘客促進

■縄文文化を活用した青函交流の促進［青函圏交流・連携推進会議、振興局］

・「青函圏フォーラム×JOMONフォーラム」の開催

開 催 日：令和６年３月14日
場　　所：プレミアホテル － CABIN PRESIDENT － 函館
概　　要：縄文遺跡群の構成資産である大船遺跡・垣ノ島遺跡をはじめとする縄文文化の魅力や価値の向上並びに活用を図るとともに、青函圏域の交流・連携の促進を目的にフォーラムを開催。

■モニュメントの設置［ライオンズクラブ国際協会、市］

・北黄金貝塚公園のモニュメント設置

場　　所：北黄金貝塚公園
概　　要：北黄金貝塚が世界遺産に登録されたことを記念し、北黄金貝塚から発掘されたホタテをモチーフにしたモニュメント『Nine Incentives H.』を設置。

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
渡島管内への観光入込客数	688万人（R2）	1,160万人（R5）	1,371万人（R6）	84.6%

Ｒ６年度の主な取組

■縄文文化継承の担い手意識醸成に向けた、地元高校生による幼児・児童向けに縄文の魅力を伝える普及活動等の実施［振興局］

■公共施設等でのパネル展等の実施、企業と連携した縄文文化の普及啓発イベントの開催［振興局等］